

心身健全!

CAMNETでお楽しみの皆さん、いかがお過ごしですか？「心身健全！」パーソナリティの川崎医科大学衛生学大槻剛巳です。

さて5~6月号ですね！

2014年5月25日~27日、岡山コンベンションセンターにて第84回日本衛生学会学術総会を開催します～そして、しました、です。

これを書いているのは丁度、その準備に本当に一所懸命バタバタの頃ですが、さて、盛会裡に終了したでしょうか？不安を覚えつつも、これを記載している状況です。

さて、その中で「日本学術会議・日本衛生学会合同公開シンポジウム」を開催します。「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくと健康管理」というもので、入場無料・予約不要です。ポスターを紹介しますね。



3.11から既に3年を経て、大槻は残念乍ら現地に入る機会のないままに現在に至っていますが、地震・津波の被害から復興という面と、それとは別にやっぱり人災だったであろうと考えられる原発事故後の問題の解決という側面があります。

そして、それに加えて作家の村上龍氏（ちょっと縁があってご依頼したらご快諾いただきました）のビデオ放映「作家・村上龍 ロング・インタビュー 健康科学を語る」もまた岡山コンベンションセンターの中で市民公開で連続放映をいたします。

大槻がインタビューとして村上氏と対談する

ような形式でのビデオ撮影を試みる予定にしております（家宝になりそう！）。以前、少しお話しされる機会があったのですが、日本の所謂文系のトップランナーの深さとすごさを感じました。また、「歌うクジラ」など医学系の科学技術をモチーフにした著作もありますし、とっても興味深い内容を語ってくださると期待しております。是非、お楽しみください。



村上 龍氏のプロフィール

1952年長崎県生まれ。武蔵野美術大学在学中の1976年、「限りなく透明に近いブルー」で群像新人文学賞、第75回芥川賞を最年少で受賞。「コインロッカーベイビー」で野間文芸新人賞、「村上龍映画小説集」で平林たい子賞を受賞。また、「だいじょうぶマイフレンド」「限りなく透明に近いブルー」「トバーズ」「KYOKO」などで自作の映画監督を勤める。2003年にセンセーションを巻き起した「13歳のハローワーク」を発表。

ということで、今回は特に市民公開の第84回日本衛生学会学術総会のイベントの告知です。もちろん、学会自体は基本的に日本衛生学会会員に向けてのものですが、一般演題も253題、その他企画シンポジウムなども9つあり、加えて、海外の研究者による特別講演も2題準備しております。加えて懇親会では……これも企画中ではあるのですが、バンド演奏で大槻もキーボードとボーカルを担当しようかなって思ったりしています。

学術的な内容も、もちろん、しっかり充実させるとともに、それでもコンパクトですっきりした運営を心がけたいなあ・背伸びせずに身の丈にあった内容にしたいなあって準備しています。また、このコラムやnet radioでも結果を報告しますね！

予防医学 week in OKAYAMA

**第84回
日本衛生学会学術総会**



みづ
凝視めれば、愛

Special Lecture 1
IARC/WHO Monographs programme: Identifying the causes of cancer as a first step in prevention and cancer control.
(International Agency for Research on Cancer, WHO World Health Organization, Lyon, France)

Special Lecture 2
Nanotoxicology
(Institute of Occupational Medicine and Personalized Medicine, University of Edinburgh, Edinburgh, UK)

■オリジナルビデオ放送
村上 龍(作家)・健康科学会議
■オフィシャルビデオ放送
大槻 剛巳(岡山大学准教授)
岡山コンベンションセンター 他

開催日 2014年 5月 25日(土)~27日(祝)
会場 大槻 剛巳(岡山大学准教授)
岡山コンベンションセンター 他

後援:岡山県、岡山市
主催:日本衛生学会
協賛:日本公衆衛生学会
共催:日本放射線防護学会
後援:日本公衆衛生学会
主催:日本放射線防護学会
協賛:日本公衆衛生学会
共催:日本放射線防護学会

最後に盛り上げるために作ったオリジナル曲、un-officialな日本衛生学会主題歌の歌詞紹介です。

いのち 衛る命

ほら 座り込んで 泣いてるように
うつむいてる キミ
うちひしがれた キミ
さあ この手をとって 前を向くんだ
何かに曝されて 咳き込んでなんかいないで
うごめく虫たちに ついばまれても Don't mind
未来はきっと キミの 手の中にある
いつかは jump どこでも chance
限りなく fly away
きれいな花を 愛する心 届け
Shall we sing? Let's dance together

ほら 肩落として やりきれなくて
涙流す キミ
嗚咽にむせぶ キミ
さあ 初めの一歩 踏み出してみて
彷徨うばかりなら 棒のよう ひきつる足で
それでも 立ち上がる 勇気をもって Be brave
世界はいつか キミに 扇を開く
いつかは jump どこでも chance
見上げれば sky high
いとしい想い 見つめる気持ち 届け

Shall we sing? Let's dance together

かけがえのない すべてを衛る
地球の環境 輝く健康
科学の探求 眺しい生命
そして ひとりひとりの 今日が
果てない夢に 溢れるように

Consider

緑のこの星に 生まれ育って
その意味 だから 思考する 私たちは
導き出される 彼方の真理を 捜して
ここに集う ここで手を合わせる

Challenge

いつかは解き明かす 命の不思議
究める さらに 試行する 私たちは
変わり行く世界 確かな予防を 目指して
ここに集う ここで心込める

かけがえのない あなたを衛る
溢れる感情 心も純情
愛さえ追求 挙げる生命
そして 情熱たぎる きっと
明日に届け 誇りに満ちて

ほら そのハートに 耳をすまして
感じている キミ
視線をあげてた キミ
さあ 今まさに今 立ち上がるんだ
見知らぬ街角で 初めての 出会いが生まれ

南の 風が吹く 体預けて right now
光の中で キミは 自由をつかむ
いつかは jump どこでも chance
今こそ departure
輝く瞳 あなたを見つめ I love you
Shall we sing? Let's dance together

Create

差し出す掌に 伝わる鼓動を
笑顔に かえて 創造する 私たちは
大きく広げる 自由の翼に 任せて
今 飛び立つ 渾身の力で

かけがえのない 未来を衛る
新たな誕生 弾ける理想
想いを共有 つながる生命
そして 絆結んで 遠く
宇宙の彼方へ 希望を抱いて

Japanese Society for Hygiene
<http://youtu.be/ddAUWksOQjU>
作詞・作曲:2012.9.01.



♪聴いて！

東北関東大震災オリジナル復興支援ソング

<http://www.youtube.com/watch?v=YFd0vHdwhyc>

<http://www.youtube.com/watch?v=CW7syPcr iku>

【プロフィール／大槻 剛巳（おおつき たけみ）】

川崎医科大学衛生学教授

0歳：京都府福知山市にて生誕

14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位

14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用

15歳：倉敷市に転居

15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演

18歳：YAMAHAポブコン全国大会（譜面の部）出場

20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり

24歳：川崎医科大学卒業

以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事

1992-1996年：米国留学（医学研究）

1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載

2009年：Gamnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
現在に至る

